



# 言葉だけ立派な者は 敵である

この言葉を目にしたとき、正直ドキッとしました。わたしのことだと思いましたが。立派なことは人によく言うけど、自分になるとなかなか行動が伴わなかったり、衣を着てお説教をするとき賢人になったようなつもりになって立派なことは言い人の道を説いたりするのだけれども…。本当に恥ずかしい限りである。わたしに向かってお釈迦さまはおっしゃっておられるのだろうか。

いつのまにか言葉やいろんな装飾で自分をきらびやかに飾り立ててしまっているのが私たちです。自分の心はそれと真反対…。ま

た言うのは結構簡単だけれども、なかなかそのことを実践するのは難しいのもです。お釈迦さまはそのままではいけないよ、すこしづ

づ歩み出そうよとのお諭しくださいされているのでしょう。友ではない、敵である、とそのひとを単に排除しておられるのではないとないと思うのです。私たち人間の生き様ってこんなものではないですか？こんな私であるということをお釈迦さまはこの言葉で照らし出してください、このままではあかんよ、そこから少しでも脱却しようとお勧めしてください。思っているものだと思うのです。

2024年という新しい年を迎えました。新年には一年の目標やこれからの目

## 今日のことば

# 言葉だけ立派な者は 敵である

2023輝け！お寺の掲示板大賞より 釈尊

標を立てる事をよく私たちはいたします。自分の今の現状を振り返らず新たな目標を立ててしまうこともあ

1月1日に大きな地震がありました。皆様ご無事でしたか？ お墓の石が倒れたり、ずれたりしていないかそれぞれでご確認をお願いします。

今年最初の法座です  
**二月初旬井波別院の巡回法座**  
日時 2月00日(日曜日) 午後1時30分より午後4時まで  
**巡回法座を予定しています**

また、井波別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

同居されているかたがおられるのならば、できますれば皆さんでお読みください



発行 真宗大谷派 常 入 寺  
930-0161 富山市東老田787  
電話 (076) 436-0816  
発行責任 青井 和成  
090-3764-3983

LINEはこちらから↓  
お参りの変更  
法事の相談  
その他



# 今年のお文 五帖第九通

当流の安心の一義といふは●ただ南無阿弥陀仏の六  
 字のころなり●たとへば南無と帰命すれば●やがて  
 阿弥陀仏の○たすけたまへるころなるがゆえに●南  
 無の二字は帰命のころなり●帰命といふは●衆生の  
 もろもろの雑行をすてて●阿弥陀仏後生たすけた  
 まへと●一向にたのみたてまつるころなるべし●こ  
 のゆへに衆生をもらさず●弥陀如来のよくしらしめ  
 して●たすけてましますころなり●これによりて南無  
 とたのむ衆生を●阿弥陀仏のたすけてまします道理な  
 るがゆへに●南無阿弥陀仏の六字のすがたは●すなわ  
 ちわれら一切衆生の●平等にたすかりつるすがたな  
 りとしらるるなり●されば他力の信心をうるとい  
 う●これしかしながら南無阿弥陀仏の六字のころ  
 なり●このゆへに一切の聖教といふも●ただ南無阿弥  
 陀仏の六字を●信ぜしめんがためなりといふころな  
 りと○おもうべきものなり●あなかしこあなかしこ

●：一呼吸置く、一字前を一音下げる

○：一呼吸置く

お文 (おふみ) …蓮如上人(一四一五〜一四九九)がお念仏の教えをわかりやすくお  
 伝えくださるために私たち門徒にあててられたお手紙をお文とい  
 います。お西(本願寺派)では御文章(ごぶんしよう)といひます

